

奈良県マスコットキャラクター
 せんとくん
 ©NARA pref.

奈良県感染症発生動向調査 還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター Nara IDSC
 （奈良県保健環境研究センター内）



● 今週の概要

- 今週の感染症情報
- 流行感染症情報：インフルエンザ New
- 奈良県結核患者情報（平成 25 年 1 月） New

（調査週）平成 25 年 第 7 週 2 月 11 日（月）～2 月 17 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当り	奈良県	北部	中部	南部
1	インフルエンザ	13.42	→～↓	→～↓	→～↓	→～↓
2	感染性胃腸炎	5.74	→	→	→	→
3	A 群溶連菌咽頭炎	0.74	→	→～↑	→～↓	↓
4	水痘	0.54	→～↓	↓	→～↓	↑↑
5	RS ウイルス感染症	0.37	→～↓	↓	→	↑

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数は 483 例で、前週報告の 686 例から減少。上位 5 疾患は ①インフルエンザ、②感染性胃腸炎、③A 群溶連菌咽頭炎、④水痘、⑤突発性発しんの順。感染性胃腸炎の報告数（106 例）は、増加。A 群溶連菌咽頭炎の報告数（18 例）は、やや増加。突発性発しんの報告数（4 例）は、ほぼ横ばい。インフルエンザの報告数（692→553→345 例）は、2 週連続での減少。水痘の報告数（6 例）も、減少。また、インフルエンザ定点からの報告は、奈良市保健所管内；150 例、郡山保健所管内；195 例の計 345 例、定点当たりの報告数は、前週の 20.48 から 12.78 に減少した。前週に引き続き、奈良市保健所および郡山保健所両管内眼科定点と基幹定点からの報告は、すべてなかった。

（村井 記）

県中部地区概況 報告数は、709 例から 451 例と減少した。上位 5 疾患は、インフルエンザ、感染性胃腸炎、A 群溶連菌咽頭炎・水痘、RS ウイルス感染症・突発性発疹の順であった。インフルエンザは、575 例から 350 例と減少傾向である。定点当たりのインフルエンザ患者の報告数は、15.91 となおも注意報の域であるが、流行のピークを過ぎている。感染性胃腸炎は、75 例から 78 例と横ばいである。基幹定点および眼科定点からの報告はなかった。

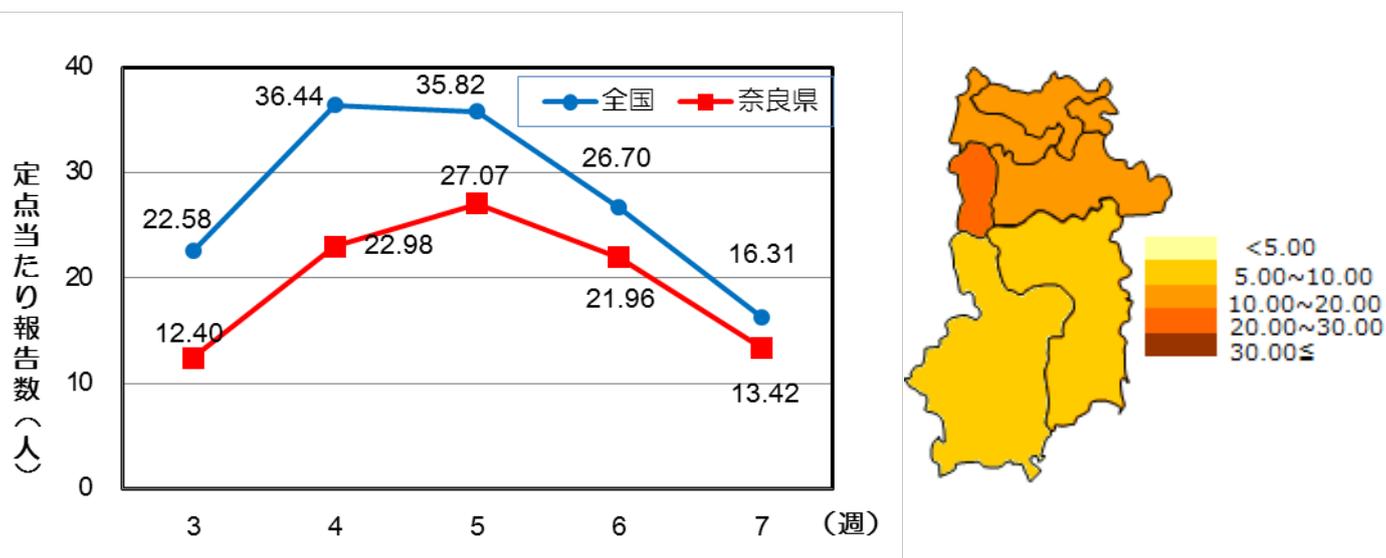
(高木 記)

県南部地区概況 報告数（第 6 週→第 7 週）は 102 例→74 例と減少。報告のあった疾患は、①インフルエンザ（80 例→43 例）、②感染性胃腸炎（12 例→17 例）、③RS ウイルス感染症（4 例→6 例）、③水痘（2 例→6 例）、⑤咽頭結膜熱（2 例→1 例）、⑤A 群溶連菌咽頭炎（1 例→1 例）であった。

(柳生 記)

【流行感染症情報：インフルエンザ】

インフルエンザの定点当たり報告数は、奈良県全体では 21.96 から 13.42 と、減少しました。全国値も 16.31 となり、前週より減少しました。



保健所別定点当たり報告数

【奈良県結核患者情報】

奈良県感染症情報センターでは結核患者発生動向情報を提供しています。
今回は平成25年1月の新規届出状況をお知らせします。

表. 結核届出数 (平成25年1月)

市町村		1月	参考(平成24年12月)
北部	奈良市	3	9
	大和郡山市	4	1
	天理市	1	3
	生駒市	2	6
	平群町		1
	三郷町	1	1
	安堵町		1
中部	大和高田市	1	
	香芝市		1
	上牧町		1
	広陵町		1
	河合町	1	1
	橿原市	1	
	桜井市	1	
	宇陀市	1	
南部	吉野町		1
	大淀町	1	1
合計		17	28

(2月12日現在)

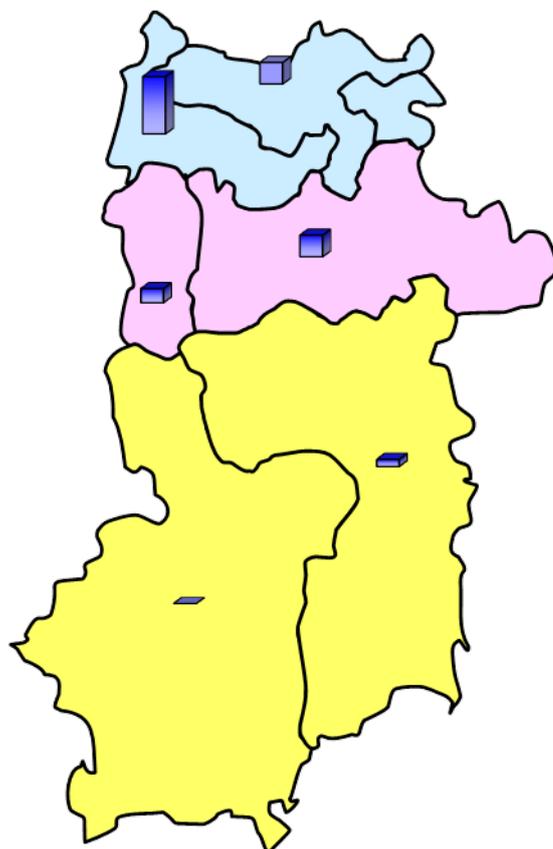


図. 保健所別届出数
(平成25年1月受理分)

(感染症情報センター 記)



感染症情報センターホームページアドレス

http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-27874.htm